

トヨタ系AI Samuraiが放つ「AI特許網生成」：知財戦略の民主化

【新体制と目的】 トヨタグループの知財DNAをAIで開放



トヨタ自動車の間接完全子会社
トヨタ自動車傘下のTTDCが100%出資し、
専門知見とAI技術を統合。



中小企業・研究機関の技術保護を支援
専門部署を持たない組織でも、高度な
特許ポートフォリオ戦略が可能になる。

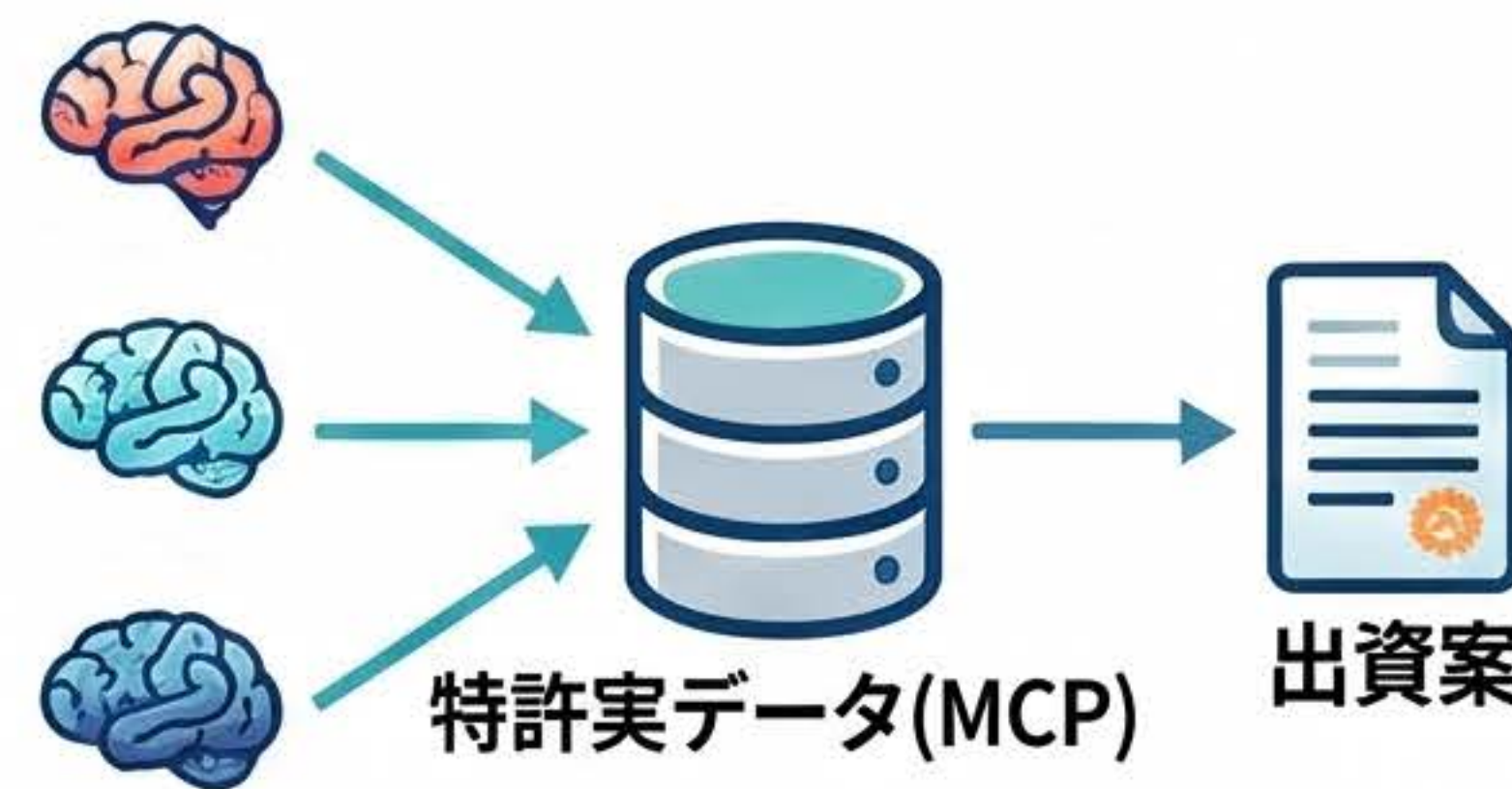


知財調査コストを最大40%削減
検索から文書作成、戦略立案までを
AIが一貫してサポートする。

【新機能と技術】「点」の発明から「面」の特許網へ



周辺技術を自動提案
AIが「近接技術」や「上流工程」を特定し、
権利の空白地帯を埋める。



マルチLLM×特許DBの直結
Claude、GPT、Geminiを特許実データ(MCP)
と連携させ、高精度な出願案を生成。



競争の参入を阻む「網」の構築
複数の特許を戦略的に配置し、他社による
迂回設計のリスクを低減する。

2018年-2019年



権利化可能性の判定
検索結果に基づき
「特許が取れるか」を評価

2021年



特許文書作成支援
AIが明細書などの
ドラフト作成をサポート

2026年



特許網の自動生成
複数の発明を組み合わせた
「戦略」を自動構築